



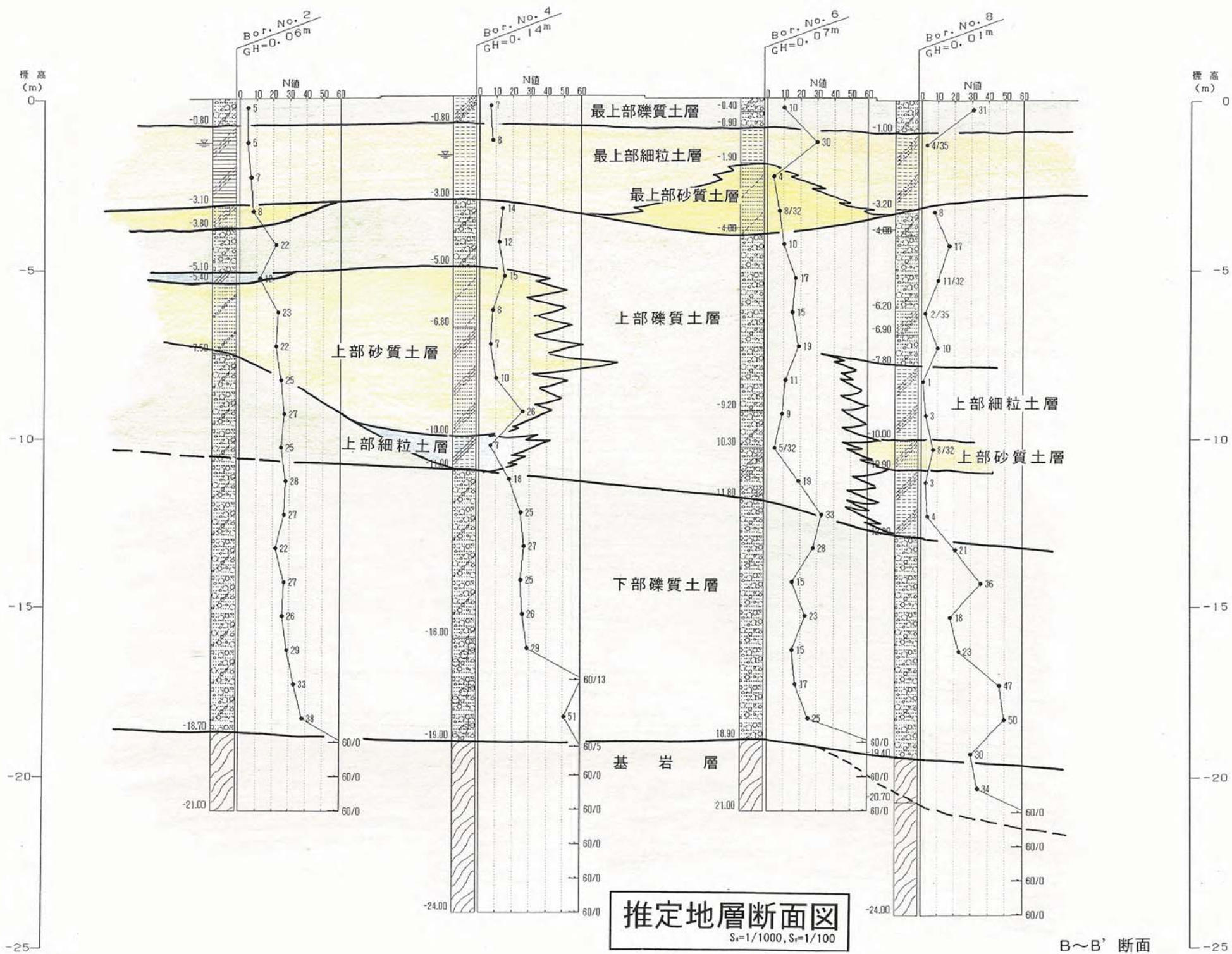
調査位置図
縮尺=1/1000

推定地層断面図

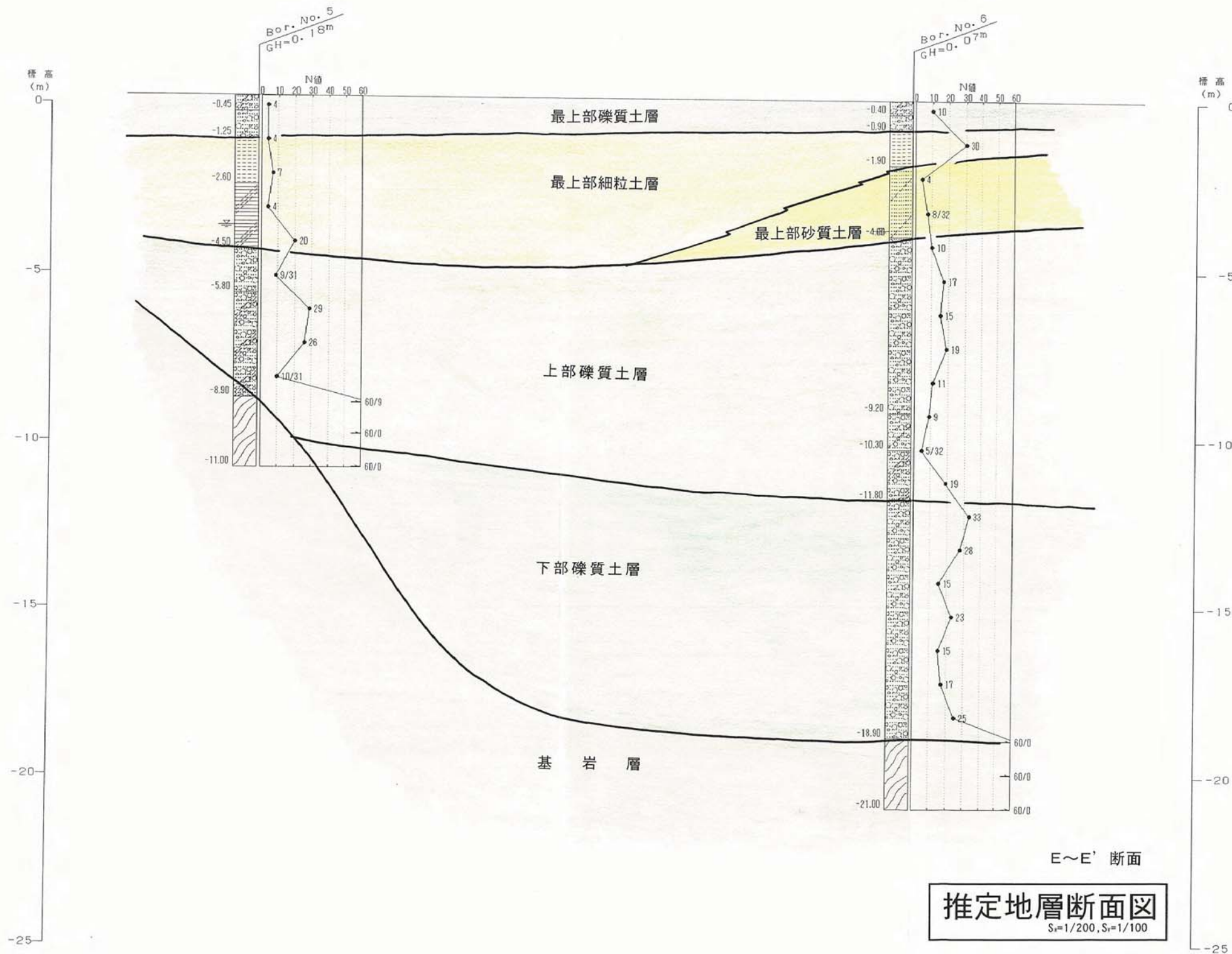
$S_v=1/1000, S_i=1/100$

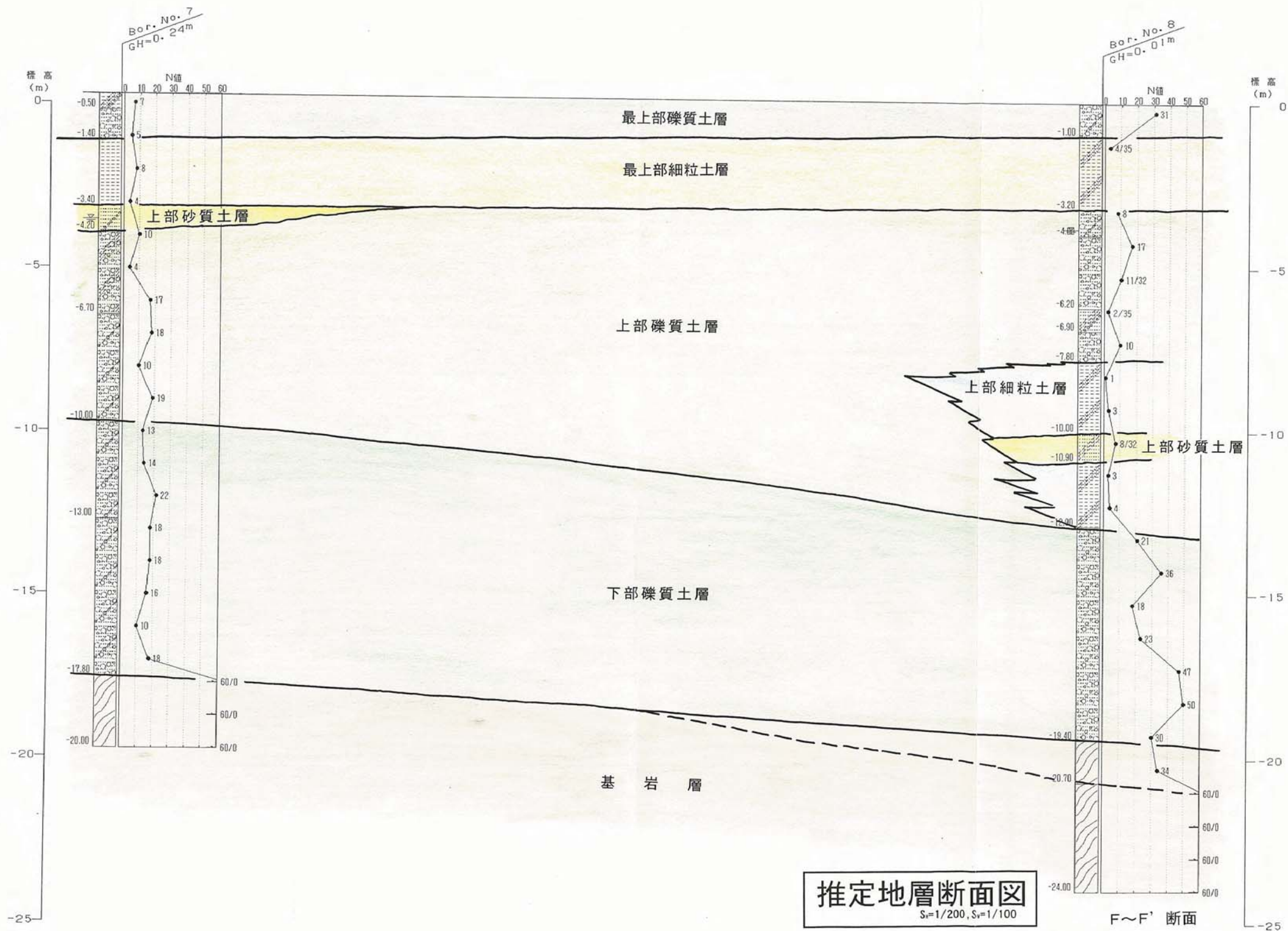
推定地層断面図
 $S_x=1/1000, S_y=1/100$

水平スケール: 1/1000.00
 断面スケール: 1/100.00



水平スケール: 1/200.00
 深さスケール: 1/100.00





ボーリング柱状図

調査名

調査項目 (名称) (東) 団地 新築工事の地質調査

ボーリングNo.

事業・工務名

シートNo. TT021201005

ボーリング名	N o . 5		調査位置	徳島市名東町		北緯	
発注機関	徳島県土木部住宅課			調査期間	平成11年12月23日～12年2月29日	東経	
調査業者名	ニタコンサルタント株式会社 電話(088-665-5550) 主任技師 安業浩資			現地代理人	石山一美 鑑定者 石山一美	ボーリング グ責任者	田中 洋
孔口標高	0.18m	方角	北0° 西270° 東90° 南180°	地盤勾配	水平0° 鉛直90°	トンビ	
総掘進長	11.00m	度	上180° 下0°	使用機種	エンジソン クボタE-110	ハンマー 落下用具	東邦地下工機軸BG-3B型

[illegible]

調査名	調査主体 (国・都道府県)	調査年度
調査名	調査主体 (国・都道府県)	調査年度

事業・工務名

シートNo. TT021201006

ボーリング名	N o . 6		調査位置	徳島市名東町			北緯
発注機関	徳島県土木部住宅課			調査期間	平成11年12月23日～12年 2月29日		東経
調査業者名	ニクコンサルタント 株式会社 電話(088-665-5550)			現場代理人	石山 一美	コシ定者	石山 一美
調査担当者	主任技師 安芸浩資			試験機	東邦地下工機 D-1 型	ハンマー落下用具	トシビ
孔口標高	0.07m	角 180° 上 90° 下 0°	方位 北 0° 西 270° 東 90° 南 180°	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°	使用機種	エンジン
総掘進長	21.00m			クボタ E-110	ボソソフ 東邦地下工機 BQ-3B 型		

標尺	標高	層厚	深度	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠密	記	孔内水位		標準貫入試験		原位置試験名 （および結果）	試験深度	試料採取方法	室内試験番号	進捗月日
										深さ (m)	測定月日	10cmごとの 打撃回数	貫入量 (mm)					
1	0.40	0.40	0.40	シルト質砂	黄褐色	緩い	φ=5~10mmの円隙及びφ=30mm程度の円隙を混入する。 φ=5~10mmの円隙を混入する。	0.45	1.02	0.30	10	0.45	0.45	P-1	○			
2	0.80	0.80	0.80	シルト質砂	黄褐色	緩い	φ=5~10mmの円隙及びφ=30mm程度の円隙を混入する。 φ=5~10mmの円隙を混入する。	0.85	1.02	0.30	10	0.85	0.85	P-2	○			
3	1.20	1.20	1.20	シルト質砂	黄褐色	緩い	φ=5~10mmの円隙及びφ=30mm程度の円隙を混入する。 φ=5~10mmの円隙を混入する。	1.25	1.02	0.30	10	1.25	1.25	P-3	○			
4	1.60	1.60	1.60	シルト質砂	黄褐色	緩い	φ=5~10mmの円隙及びφ=30mm程度の円隙を混入する。 φ=5~10mmの円隙を混入する。	1.65	1.02	0.30	10	1.65	1.65	P-4	○			
5	2.00	2.00	2.00	シルト質砂	黄褐色	緩い	φ=5~10mmの円隙及びφ=30mm程度の円隙を混入する。 φ=5~10mmの円隙を混入する。	2.05	1.02	0.30	10	2.05	2.05	P-5	○			
6	2.40	2.40	2.40	シルト質砂	黄褐色	緩い	φ=5~10mmの円隙及びφ=30mm程度の円隙を混入する。 φ=5~10mmの円隙を混入する。	2.45	1.02	0.30	10	2.45	2.45	P-6	○			
7	2.80	2.80	2.80	シルト質砂	黄褐色	緩い	φ=5~10mmの円隙及びφ=30mm程度の円隙を混入する。 φ=5~10mmの円隙を混入する。	2.85	1.02	0.30	10	2.85	2.85	P-7	○			
8	3.20	3.20	3.20	シルト質砂	黄褐色	緩い	φ=5~10mmの円隙及びφ=30mm程度の円隙を混入する。 φ=5~10mmの円隙を混入する。	3.25	1.02	0.30	10	3.25	3.25	P-8	○			
9	3.60	3.60	3.60	シルト質砂	黄褐色	緩い	φ=5~10mmの円隙及びφ=30mm程度の円隙を混入する。 φ=5~10mmの円隙を混入する。	3.65	1.02	0.30	10	3.65	3.65	P-9	○			
10	4.00	4.00	4.00	シルト質砂	黄褐色	緩い	φ=5~10mmの円隙及びφ=30mm程度の円隙を混入する。 φ=5~10mmの円隙を混入する。	4.05	1.02	0.30	10	4.05	4.05	P-10	○			
11	4.40	4.40	4.40	シルト質砂	黄褐色	緩い	φ=5~10mmの円隙及びφ=30mm程度の円隙を混入する。 φ=5~10mmの円隙を混入する。	4.45	1.02	0.30	10	4.45	4.45	P-11	○			
12	4.80	4.80	4.80	シルト質砂	黄褐色	緩い	φ=5~10mmの円隙及びφ=30mm程度の円隙を混入する。 φ=5~10mmの円隙を混入する。	4.85	1.02	0.30	10	4.85	4.85	P-12	○			
13	5.20	5.20	5.20	シルト質砂	黄褐色	緩い	φ=5~10mmの円隙及びφ=30mm程度の円隙を混入する。 φ=5~10mmの円隙を混入する。	5.25	1.02	0.30	10	5.25	5.25	P-13	○			
14	5.60	5.60	5.60	シルト質砂	黄褐色	緩い	φ=5~10mmの円隙及びφ=30mm程度の円隙を混入する。 φ=5~10mmの円隙を混入する。	5.65	1.02	0.30	10	5.65	5.65	P-14	○			
15	6.00	6.00	6.00	シルト質砂	黄褐色	緩い	φ=5~10mmの円隙及びφ=30mm程度の円隙を混入する。 φ=5~10mmの円隙を混入する。	6.05	1.02	0.30	10	6.05	6.05	P-15	○			
16	6.40	6.40	6.40	シルト質砂	黄褐色	緩い	φ=5~10mmの円隙及びφ=30mm程度の円隙を混入する。 φ=5~10mmの円隙を混入する。	6.45	1.02	0.30	10	6.45	6.45	P-16	○			
17	6.80	6.80	6.80	シルト質砂	黄褐色	緩い	φ=5~10mmの円隙及びφ=30mm程度の円隙を混入する。 φ=5~10mmの円隙を混入する。	6.85	1.02	0.30	10	6.85	6.85	P-17	○			
18	7.20	7.20	7.20	シルト質砂	黄褐色	緩い	φ=5~10mmの円隙及びφ=30mm程度の円隙を混入する。 φ=5~10mmの円隙を混入する。	7.25	1.02	0.30	10	7.25	7.25	P-18	○			
19	7.60	7.60	7.60	シルト質砂	黄褐色	緩い	φ=5~10mmの円隙及びφ=30mm程度の円隙を混入する。 φ=5~10mmの円隙を混入する。	7.65	1.02	0.30	10	7.65	7.65	P-19	○			
20	8.00	8.00	8.00	シルト質砂	黄褐色	緩い	φ=5~10mmの円隙及びφ=30mm程度の円隙を混入する。 φ=5~10mmの円隙を混入する。	8.05	1.02	0.30	10	8.05	8.05					
21	8.40	8.40	8.40	シルト質砂	黄褐色	緩い	φ=5~10mmの円隙及びφ=30mm程度の円隙を混入する。 φ=5~10mmの円隙を混入する。	8.45	1.02	0.30	10	8.45	8.45					

[illegible]

ボーリング柱状図

県営住宅（名東）団地 新築工事の地質調査

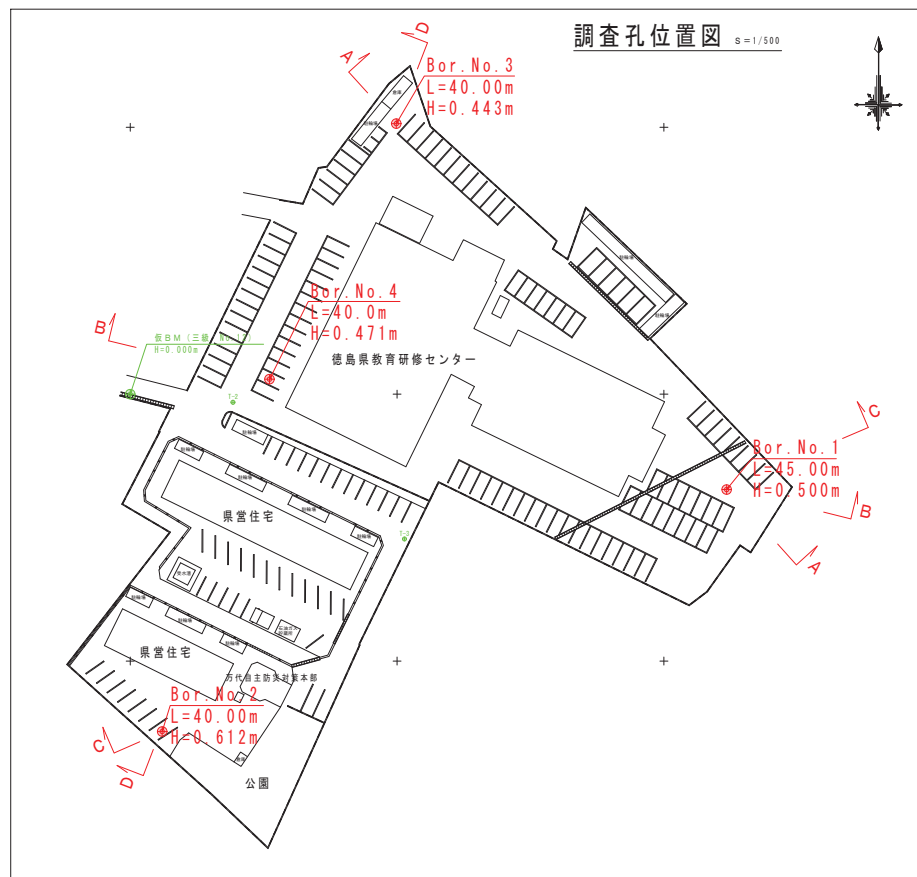
[illegible]

專業·工專名

シートNo. TT021201008

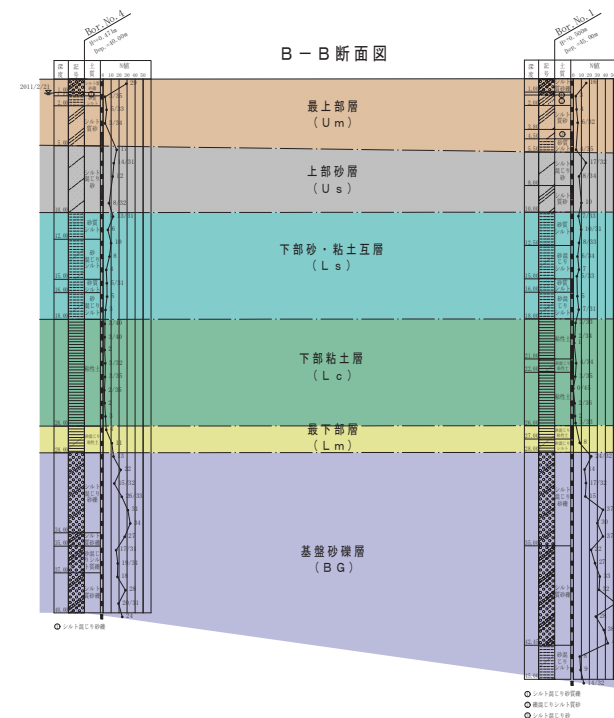
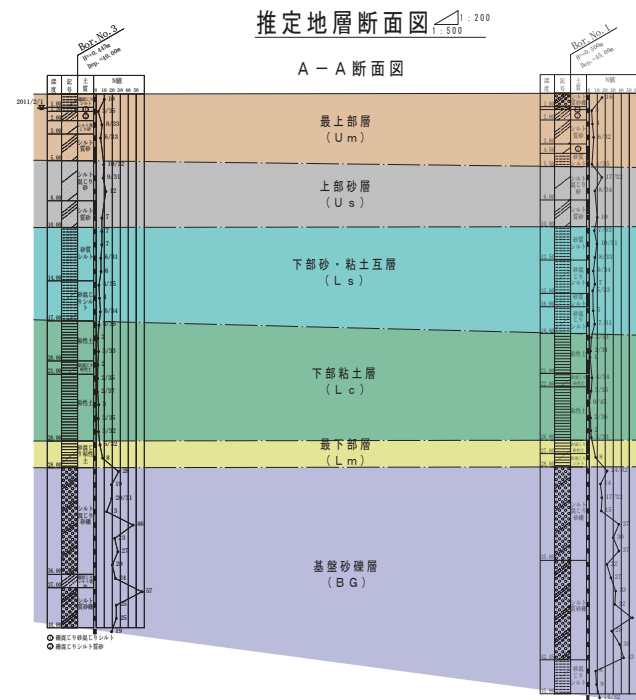
ボーリング名	N o . 8		調査位置	徳島市名東町			北緯	
発注機関	徳島県土木部住宅課			調査期間	平成11年12月23日～12年 2月29日		東経	
調査業者名	ニタコンサルタント株式会社 電話(088-665-5550)			主任技師	安芸浩資	現場代理人	石山一美	ボースン グ責任者
孔口標高	0.01m	角	180° 上 90° 下 0°	方位	北 0° 270° 西 90° 南 180° 東	地盤勾配	水平0° 鉛直 90°	使用機種
総掘進長	24.00m	度		試験機	エノン	クボタ E-110	落下用具	ハンマー ポンプ
				東邦地下工機	納 D-1 型	東邦地下工機	納 B G-3 B 型	

深度 (m)	土質	色	相対密度 (%)	備考
0.00 ~ 0.50	シルト質砂	暗褐色	密	全粒にφ=5~2.0mm位の円礫主体
0.50 ~ 1.00	砂質シルト	暗褐色	緩い	φ=3.0mm程度の片岩礫を少量混入する。GL-1.5m付近より暗灰色を呈す。
1.00 ~ 1.50	シルト質砂	暗褐色	緩い	φ=5~2.0mm程度の円礫主体。
1.50 ~ 2.00	砂質シルト	暗褐色	中	φ=1.0~3.0mm位の円礫主体。所々に風化礫を混入する。含水多い。
2.00 ~ 2.50	砂質シルト	暗褐色	中	GL-4.0~5.0mの間は粘土質。GL-5.0~5.10mの間、粘土の混入を認む。
2.50 ~ 3.00	砂質シルト	暗褐色	中	粗砂主体。φ=1.0mm位の円礫を少量混入する。
3.00 ~ 3.50	砂質シルト	暗褐色	中	φ=5~2.0mm円礫及び亜角礫主体。粗砂多い。
3.50 ~ 4.00	砂質シルト	暗褐色	中	粗砂多い。
4.00 ~ 4.50	砂質シルト	暗褐色	中	粗砂多い。
4.50 ~ 5.00	砂質シルト	暗褐色	中	粗砂多い。
5.00 ~ 5.50	砂質シルト	暗褐色	中	粗砂多い。
5.50 ~ 6.00	砂質シルト	暗褐色	中	粗砂多い。
6.00 ~ 6.50	砂質シルト	暗褐色	中	粗砂多い。
6.50 ~ 7.00	砂質シルト	暗褐色	中	粗砂多い。
7.00 ~ 7.50	砂質シルト	暗褐色	中	粗砂多い。
7.50 ~ 8.00	砂質シルト	暗褐色	中	粗砂多い。
8.00 ~ 8.50	砂質シルト	暗褐色	中	粗砂多い。
8.50 ~ 9.00	砂質シルト	暗褐色	中	粗砂多い。
9.00 ~ 9.50	砂質シルト	暗褐色	中	粗砂多い。
9.50 ~ 10.00	砂質シルト	暗褐色	中	粗砂多い。
10.00 ~ 10.50	砂質シルト	暗褐色	中	粗砂多い。
10.50 ~ 11.00	砂質シルト	暗褐色	中	粗砂多い。
11.00 ~ 11.50	砂質シルト	暗褐色	中	粗砂多い。
11.50 ~ 12.00	砂質シルト	暗褐色	中	粗砂多い。
12.00 ~ 12.50	砂質シルト	暗褐色	中	粗砂多い。
12.50 ~ 13.00	砂質シルト	暗褐色	中	粗砂多い。
13.00 ~ 13.50	砂質シルト	暗褐色	中	粗砂多い。
13.50 ~ 14.00	砂質シルト	暗褐色	中	粗砂多い。
14.00 ~ 14.50	砂質シルト	暗褐色	中	粗砂多い。
14.50 ~ 15.00	砂質シルト	暗褐色	中	粗砂多い。
15.00 ~ 15.50	砂質シルト	暗褐色	中	粗砂多い。
15.50 ~ 16.00	砂質シルト	暗褐色	中	粗砂多い。
16.00 ~ 16.50	砂質シルト	暗褐色	中	粗砂多い。
16.50 ~ 17.00	砂質シルト	暗褐色	中	粗砂多い。
17.00 ~ 17.50	砂質シルト	暗褐色	中	粗砂多い。
17.50 ~ 18.00	砂質シルト	暗褐色	中	粗砂多い。
18.00 ~ 18.50	砂質シルト	暗褐色	中	粗砂多い。
18.50 ~ 19.00	砂質シルト	暗褐色	中	粗砂多い。
19.00 ~ 19.50	砂質シルト	暗褐色	中	粗砂多い。
19.50 ~ 20.00	砂質シルト	暗褐色	中	粗砂多い。
20.00 ~ 20.50	砂質シルト	暗褐色	中	粗砂多い。
20.50 ~ 21.00	砂質シルト	暗褐色	中	粗砂多い。
21.00 ~ 21.50	砂質シルト	暗褐色	中	粗砂多い。
21.50 ~ 22.00	砂質シルト	暗褐色	中	粗砂多い。
22.00 ~ 22.50	砂質シルト	暗褐色	中	粗砂多い。
22.50 ~ 23.00	砂質シルト	暗褐色	中	粗砂多い。
23.00 ~ 23.50	砂質シルト	暗褐色	中	粗砂多い。
23.50 ~ 24.00	砂質シルト	暗褐色	中	粗砂多い。



地層構成総括表

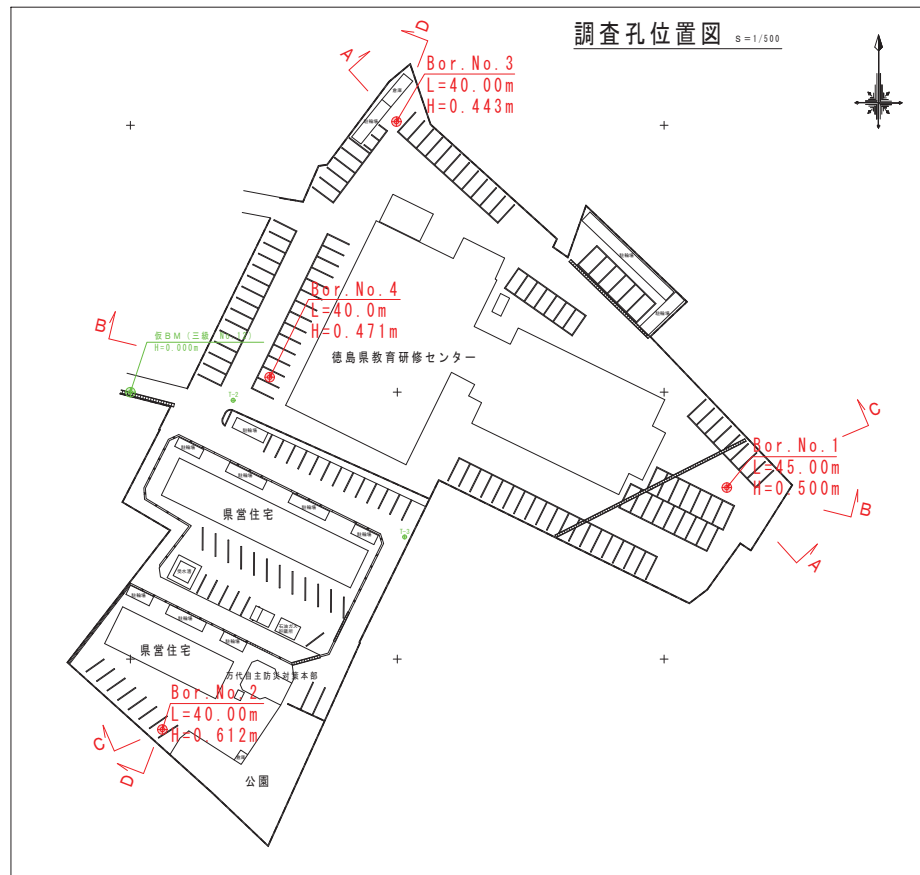
分	深度	層厚 m	土層名	N値	地盤特性
m 層	GL. 0.00m~GL.-5.00m	5.00	シルト質砂礫 シルト混じり砂質礫 礫混じりシルト質砂	3~13	礫分、砂分、シルト分の混入度で変化する土層。 砂、礫主体層は非常に緩い~中位の 締り具合となり、シルト主体層では軟らかいコンシステンシーとなる。 地 は 土層中に
	GL. 0.00m~GL.-5.50m	5.50	シルト質砂 シルト混じり砂 礫質シルト質砂 砂質シルト 礫混じりシルト 礫混じり砂混じりシルト		
層	GL.-5.00m~GL.-10.00m	5.00	シルト混じり砂	8~18	シルト分の混入度でシルト混じり~シルト質へと変化する砂質土主体層で、非常に緩い~中位の締り具合となる。 貝殻片・腐植物を混じる。
	GL.-5.50m~GL.-10.00m	4.50	シルト質砂		
L 層	GL.-10.00m~GL.-17.00m	7.00	砂質シルト	3~13	砂分の混入度で砂混じり~砂質へと変化する粘性土主体層で、軟らかい~硬いコンシステンシーとなる。 貝殻片・腐食物を混じる。
	GL.-10.00m~GL.-18.00m	8.00	砂混じりシルト		
L 層	GL.-17.00m~GL.-26.00m	8.00	粘性土	0~4	粘性土主体の土層で、細砂を薄層で混じえ、非常に軟らかい~軟らかいコンシステンシーとなる。 貝殻片・腐食物を混じる。
	GL.-18.00m~GL.-26.00m	9.00	砂混じり粘性土		
Lm 層	GL.26.00m~GL.-28.00m	2.00	砂混じり粘性土	5~11	砂分の混入度で砂混じり~砂質へと変化する粘性土、シルト主体の土層で、中位~硬いコンシステンシーとなる。 貝殻片を混じる。
	GL.-26.00m~GL.-30.00m	4.00	砂質シルト		
G 層	GL.-30.00m~GL.-40.00m	確認層厚	シルト混じり砂礫 シルト質砂礫 砂混じりシルト質礫 礫混じりシルト質砂	8~57	シルト分の混入度でシルト混じり~シルト質へと変化する砂礫主体の土層で、中位~非常に密な締り具合となる。 ときには、シルト、粘性土、砂の層を挟む。礫は風化の影響を受け褐色に変色帯びる。
	GL.-28.00m~GL.-40.00m	10.00			
	GL.-28.00m~GL.-45.00m	17.00	礫混じり粘性土 砂混じりシルト		



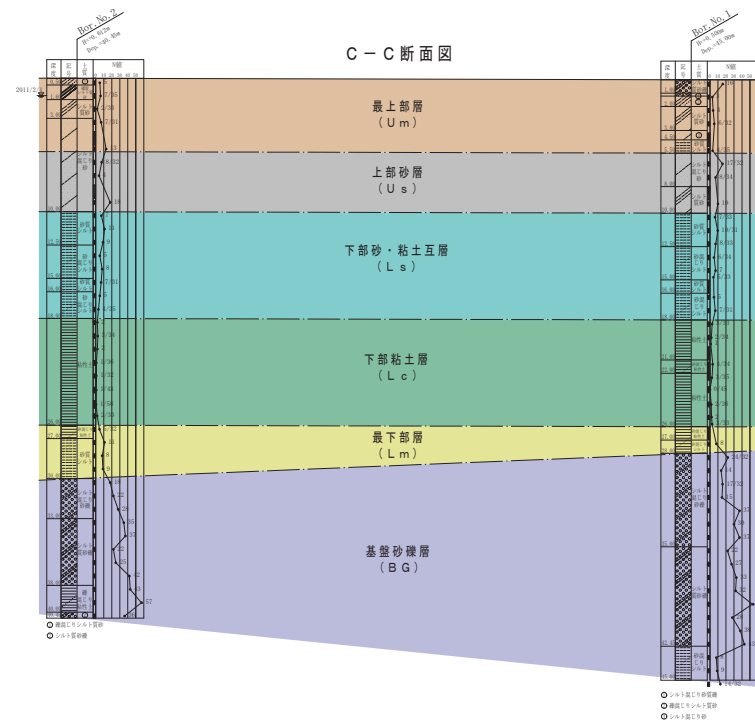
土質(地質)記号凡例

記 号	土 質 (地 質) 名
●	砂
○	砂 礫
△	シルト質
▽	シルト混じり
◇	砂混じり
◇	礫混り
◇	砂 質
◇	粘 土
◇	シルト

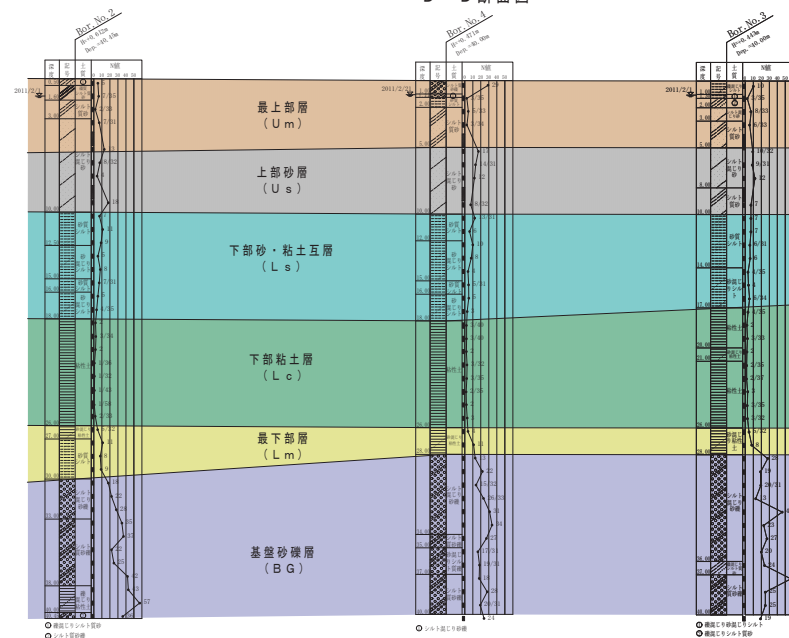
工 事 名	H22住宅 県営住宅集約化事業債・万代地質調査業務
路線名等	万代町団地他
工事箇所	徳島市万代町
図 面 名	推定地層断面図・調査孔位置図
縮 尺	図 示 図面番号 1 / 2
会 社 名	株式会社 ビュー設計
事業者名	徳島県国土整備部住宅課



推定地層断面図 1:200
1:500



D-D断面図



土質(地質)記号凡例

記号	土質(地質)名
●	砂
○	砂礫
△	シルト質
▽	シルト混じり
◇	砂混じり
◇	礫混じり
◇	砂質
◇	粘土
◇	シルト

地層構成総括表

分	深度	層厚 m	土層名	N値	地盤特性
m層	GL-0.00m~GL-5.00m	5.00	シルト質砂礫	3~13	礫分、砂分、シルト分の混入度合で変化する土層。 砂、礫主体層は非常に緩い~中位の締り具合となり、シルト主体層では軟らかいコンシステンシーとなる。 地盤は土層中に
	GL-0.00m~GL-5.50m	5.50	シルト混じり砂 砂質シルト 砂質シルト質砂 砂質シルト 礫混じりシルト		
層	GL-5.00m~GL-10.00m	5.00	シルト混じり砂	8~18	シルト分の混入度合でシルト混じり~シルト質へ変化する砂質土主体層で、非常に緩い~中位の締り具合となる。 貝殻片・腐植物を混じえる。
	GL-5.50m~GL-10.00m	4.50	シルト質砂		
L層	GL-10.00m~GL-17.00m	7.00	砂質シルト	3~13	砂分の混入度合で砂混じり~砂質へと変化する粘性土主体層で、軟らかい~緩いコンシステンシーとなる。 貝殻片・腐食物を混じえる。
	GL-10.00m~GL-18.00m	8.00	砂混じりシルト		
L層	GL-17.00m~GL-26.00m	8.00	粘性土	0~4	粘性土主体の土層で、細砂を薄層で混じえ、非常に軟らかい~軟らかいコンシステンシーとなる。 貝殻片・腐食物を混じえる。
	GL-18.00m~GL-26.00m	9.00	砂混じり粘性土		
Lm層	GL-26.00m~GL-28.00m	2.00	砂混じり粘性土	5~11	砂分の混入度合で砂混じり~砂質へと変化する粘性土、シルト主体の土層で、中位~緩いコンシステンシーとなる。 貝殻片を混じえる。
	GL-26.00m~GL-30.00m	4.00	砂質シルト		
G層	GL-30.00m~GL-40.00m	確認層厚	シルト混じり砂礫	8~57	シルト分の混入度合でシルト混じり~シルト質へ変化する砂礫主体の土層で、中位~非常に密な締り具合となる。ときには、シルト、粘性土、砂の層を挟む。礫は風化の影響を受け褐色に変色帯びる。
	GL-28.00m~GL-40.00m	10.00	砂混じりシルト質礫		
	GL-28.00m~GL-45.00m	17.00	礫混じりシルト質砂 砂混じり粘性土 砂混じりシルト		

工事名	H22住宅 県営住宅集約化事業徳・万代地質調査業務
路線名等	万代町団地他
工事箇所	徳島市万代町
図面名	推定地層断面図・調査孔位置図
縮尺	図示 図面番号 2 / 2
会社名	株式会社 ビュー設計
事業者名	徳島県県土整備部住宅課

ボーリング柱状図

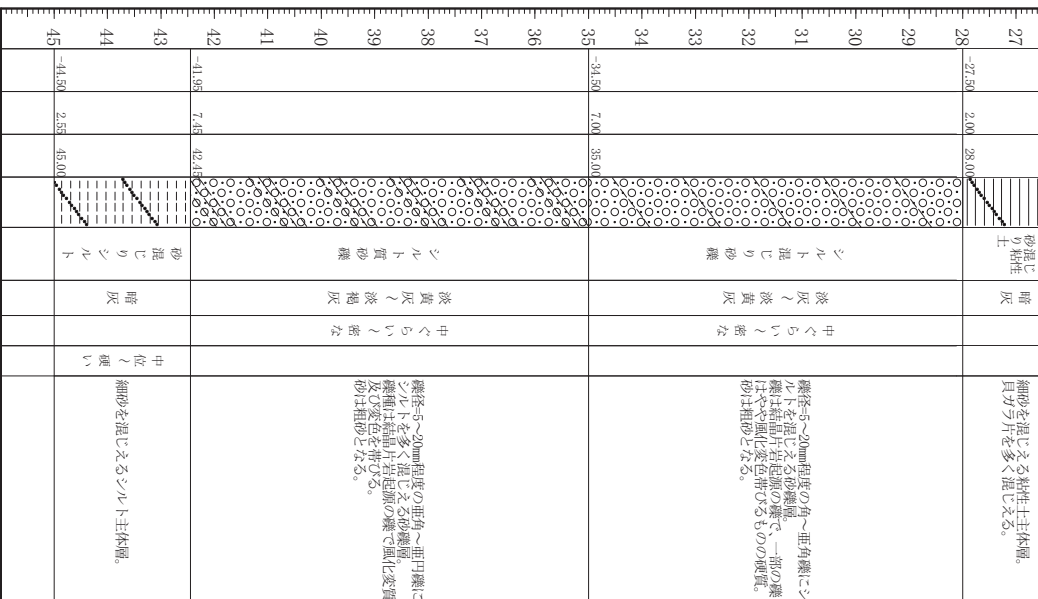
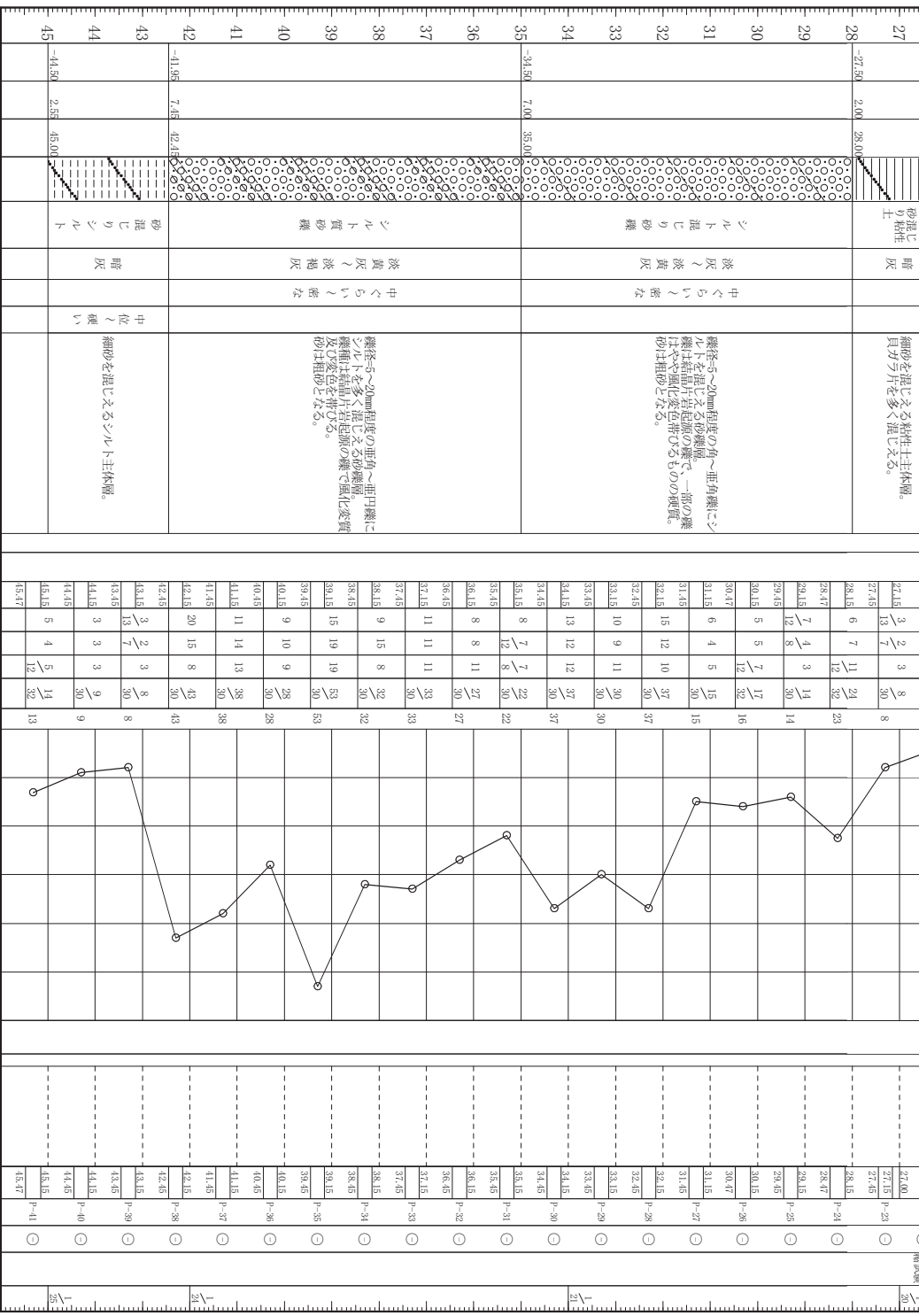
調査名	H22住宅 県営住宅集約化事業 徳・万代 地質調査業務
-----	--------------------------------------

ボーリングNo						

事業・工事名

ボーリング名	Bor. No. 1		徳島市万代町		北緯 34° 3' 44.95"
発注機関	徳島県県土整備部住宅課				東経 134° 33' 52.55"
調査業者名	株式会社ビエー設計 電話 (088-665-7360)		調査期間	平成 23年 1月 17日 ~ 23年 1月 25日	ボーリング責任者
調査標高	±=+0.500m	主任技師	大機 宏之	現場代理人	廣岡 勝巳
総掘進長	45.00m	角度	180° 90° 0°	方位	北 0° 東 90° 西 180°
		地盤勾配	鉛直 90° 水平 30°	使用機種	試錐機
		エンジン	クボタ EA-12型	ハンマー落下用具	ポンプ
			東邦 D-1型		トシビ
			クボタ EA-12型		東邦 BG-3C型

標 尺	標 高	層 厚	柱 状 図	土 質 分 区	色 相 対 密 度	相 対 稠 度	記 事	孔 内 水 位 (m) / 測 定 月 日				標 準 貫 入 試 験				原 位 試 験 名	試 料 採 取 方 法	室 内 試 験	
								深 度 (m)	10cm 以上の 打 撃 回 数		貫 入 量 (cm)	N 値	深 度 (m)	試 験 名	深 度 (m)				採 取 方 法
									0	10									
1	-0.72	1.00	1.22	シルト質砂礫	中ぐい	表層3.0m程度はアスファルト、以下は礫径5~20mm程度の角礫主体の砂層	0.18	12	8	30	16	0.18	P-1	物理試験	①	18			
2	-1.30	0.78	2.00	シルト質砂	液状に硬い	礫径5~30mm程度の角礫にシルトと中砂を混じえる砂層	1.15	2	1	3	1.5	1.15	P-2	物理試験	○				
3	-3.30	1.80	3.80	シルト質砂	液状に硬い	礫径5~10mm程度の角礫片岩角礫とシルトを多く混じえる中砂主体の砂層	2.15	1	2	1	4	2.15	P-3	物理試験	○				
4	-4.00	0.70	4.50	シルト質砂	液状に硬い	シルトを多く混じえる中砂主体の砂層	3.15	2	2	2	6	3.15	P-4	物理試験	○	15			
5	-5.00	1.00	5.50	シルト質砂	液状に硬い	シルトを多く混じえる中砂主体の砂層	5.15	1	1	2	4	5.15	P-5	物理試験	○				
6	-7.50	2.50	8.00	シルト質砂	液状に硬い	シルトを多く混じえる中砂主体の砂層	6.15	5	6	6	17	6.15	P-6	物理試験	○				
7	-9.50	2.00	10.00	シルト質砂	液状に硬い	シルトを多く混じえる中砂主体の砂層	7.15	2	2	2	8	7.15	P-7	物理試験	○	13			
8	-7.50	2.50	8.00	シルト質砂	液状に硬い	シルトを多く混じえる中砂主体の砂層	7.15	2	2	2	8	7.15	P-7	物理試験	○				
9	-9.50	2.00	10.00	シルト質砂	液状に硬い	シルトを多く混じえる中砂主体の砂層	8.00					8.00	A-2	物理試験	○				
10	-9.50	2.00	10.00	シルト質砂	液状に硬い	シルトを多く混じえる中砂主体の砂層	8.50					8.50				18			
11	-12.00	2.50	12.50	砂質シルト	中ぐい	細砂を多く混じえるシルト主体層で少量の貝ガラ片を混じえる。G _L -11.00m付近、腐食物存在する。	9.15	2	4	4	10	9.15	P-8	物理試験	○				
12	-12.00	2.50	12.50	砂質シルト	中ぐい	細砂を多く混じえるシルト主体層で少量の貝ガラ片を混じえる。G _L -11.00m付近、腐食物存在する。	9.45	1	1	1	3	9.45	P-9	物理試験	○				
13	-14.50	2.50	15.00	砂質シルト	中ぐい	細砂を多く混じえるシルト主体層、腐食物及び貝ガラ片を少量混じえる。	10.15	2	4	4	13	10.15	P-10	物理試験	○	18			
14	-14.50	2.50	15.00	砂質シルト	中ぐい	細砂を多く混じえるシルト主体層、腐食物及び貝ガラ片を少量混じえる。	10.48	2	4	4	10	10.48	P-9	物理試験	○				
15	-15.50	1.00	16.00	砂質シルト	中ぐい	細砂を多く混じえるシルト主体層、腐食物及び貝ガラ片を少量混じえる。	11.15	2	8	11	31	11.15	P-10	物理試験	○				
16	-15.50	1.00	16.00	砂質シルト	中ぐい	細砂を多く混じえるシルト主体層、腐食物及び貝ガラ片を少量混じえる。	11.46	2	3	3	8	11.46	P-11	物理試験	○	18			
17	-17.50	2.00	18.00	砂質シルト	中ぐい	細砂を多く混じえるシルト主体層、腐食物及び貝ガラ片を少量混じえる。	12.15	2	3	3	8	12.15	P-11	物理試験	○				
18	-17.50	2.00	18.00	砂質シルト	中ぐい	細砂を多く混じえるシルト主体層、腐食物及び貝ガラ片を少量混じえる。	12.48	2	3	3	8	12.48	P-11	物理試験	○				
19	-20.50	3.00	21.00	砂質シルト	中ぐい	細砂を多く混じえるシルト主体層、腐食物及び貝ガラ片を少量混じえる。	13.15	2	2	2	6	13.15	P-12	物理試験	○	18			
20	-20.50	3.00	21.00	砂質シルト	中ぐい	細砂を多く混じえるシルト主体層、腐食物及び貝ガラ片を少量混じえる。	13.49	2	2	2	6	13.49	P-12	物理試験	○				
21	-21.50	1.00	22.00	砂質シルト	中ぐい	細砂を多く混じえるシルト主体層、腐食物及び貝ガラ片を少量混じえる。	14.15	2	2	2	7	14.15	P-13	物理試験	○				
22	-21.50	1.00	22.00	砂質シルト	中ぐい	細砂を多く混じえるシルト主体層、腐食物及び貝ガラ片を少量混じえる。	14.45	2	2	2	7	14.45	P-13	物理試験	○	18			
23	-23.50	4.00	28.00	砂質シルト	中ぐい	細砂を多く混じえるシルト主体層、腐食物及び貝ガラ片を少量混じえる。	14.98	2	2	2	7	14.98	P-13	物理試験	○				
24	-25.50	4.00	28.00	砂質シルト	中ぐい	細砂を多く混じえるシルト主体層、腐食物及び貝ガラ片を少量混じえる。	15.15	2	1	2	5	15.15	P-14	物理試験	○				
25	-25.50	4.00	28.00	砂質シルト	中ぐい	細砂を多く混じえるシルト主体層、腐食物及び貝ガラ片を少量混じえる。	16.15	2	1	1	3	16.15	P-14	物理試験	○	18			
26	-25.50	4.00	28.00	砂質シルト	中ぐい	細砂を多く混じえるシルト主体層、腐食物及び貝ガラ片を少量混じえる。	16.45	2	1	1	3	16.45	P-14	物理試験	○				
27	-25.50	4.00	28.00	砂質シルト	中ぐい	細砂を多く混じえるシルト主体層、腐食物及び貝ガラ片を少量混じえる。	17.46	2	1	1	3	17.46	P-15	物理試験	○				
28	-27.50	4.00	32.00	砂質シルト	中ぐい	細砂を多く混じえるシルト主体層、腐食物及び貝ガラ片を少量混じえる。	17.46	2	1	1	3	17.46	P-15	物理試験	○	18			
29	-27.50	4.00	32.00	砂質シルト	中ぐい	細砂を多く混じえるシルト主体層、腐食物及び貝ガラ片を少量混じえる。	18.15	2	1	1	3	18.15	P-16	物理試験	○				
30	-27.50	4.00	32.00	砂質シルト	中ぐい	細砂を多く混じえるシルト主体層、腐食物及び貝ガラ片を少量混じえる。	18.48	2	1	1	3	18.48	P-16	物理試験	○				
31	-29.50	4.00	34.00	砂質シルト	中ぐい	細砂を多く混じえるシルト主体層、腐食物及び貝ガラ片を少量混じえる。	19.15	2	1	1	3	19.15	P-17	物理試験	○	18			
32	-29.50	4.00	34.00	砂質シルト	中ぐい	細砂を多く混じえるシルト主体層、腐食物及び貝ガラ片を少量混じえる。	19.49	2	1	1	3	19.49	P-17	物理試験	○				
33	-31.50	4.00	36.00	砂質シルト	中ぐい	細砂を多く混じえるシルト主体層、腐食物及び貝ガラ片を少量混じえる。	19.95	2	1	1	3	19.95	P-17	物理試験	○				
34	-31.50	4.00	36.00	砂質シルト	中ぐい	細砂を多く混じえるシルト主体層、腐食物及び貝ガラ片を少量混じえる。	20.00	2	1	1	3	20.00	P-17	物理試験	○	18			
35	-33.50	4.00	38.00	砂質シルト	中ぐい	細砂を多く混じえるシルト主体層、腐食物及び貝ガラ片を少量混じえる。	21.00	2	1	1	3	21.00	P-18	物理試験	○				
36	-33.50	4.00	38.00	砂質シルト	中ぐい	細砂を多く混じえるシルト主体層、腐食物及び貝ガラ片を少量混じえる。	21.49	2	1	1	3	21.49	P-18	物理試験	○				
37	-35.50	4.00	40.00	砂質シルト	中ぐい	細砂を多く混じえるシルト主体層、腐食物及び貝ガラ片を少量混じえる。	22.50	2	1	1	3	22.50	P-19	物理試験	○	18			
38	-35.50	4.00	40.00	砂質シルト	中ぐい	細砂を多く混じえるシルト主体層、腐食物及び貝ガラ片を少量混じえる。	23.00	2	1	1	3	23.00	P-19	物理試験	○				
39	-37.50	4.00	42.00	砂質シルト	中ぐい	細砂を多く混じえるシルト主体層、腐食物及び貝ガラ片を少量混じえる。	23.45	2	1	1	3	23.45	P-20	物理試験	○				
40	-37.50	4.00	42.00	砂質シルト	中ぐい	細砂を多く混じえるシルト主体層、腐食物及び貝ガラ片を少量混じえる。	24.00	2	1	1	3	24.00	P-20	物理試験	○	18			
41	-39.50	4.00	44.00	砂質シルト	中ぐい	細砂を多く混じえるシルト主体層、腐食物及び貝ガラ片を少量混じえる。	24.15	2	1	1	3	24.15	P-21	物理試験	○				
42	-39.50	4.00	44.00	砂質シルト	中ぐい	細砂を多く混じえるシルト主体層、腐食物及び貝ガラ片を少量混じえる。	24.61	2	1	1	3	24.61	P-21	物理試験	○				
43	-41.50	4.00	46.00	砂質シルト	中ぐい	細砂を多く混じえるシルト主体層、腐食物及び貝ガラ片を少量混じえる。	25.45	2	1	1	3	25.45	P-22	物理試験	○	18			
44	-41.50	4.00	46.00	砂質シルト	中ぐい	細砂を多く混じえるシルト主体層、腐食物及び貝ガラ片を少量混じえる。	25.98	2	1	1	3	25.98	P-22	物理試験	○				
45	-43.50	4.00	48.00	砂質シルト	中ぐい	細砂を多く混じえるシルト主体層、腐食物及び貝ガラ片を少量混じえる。	27.45	2	1	1	3	27.45	P-23	物理試験	○				

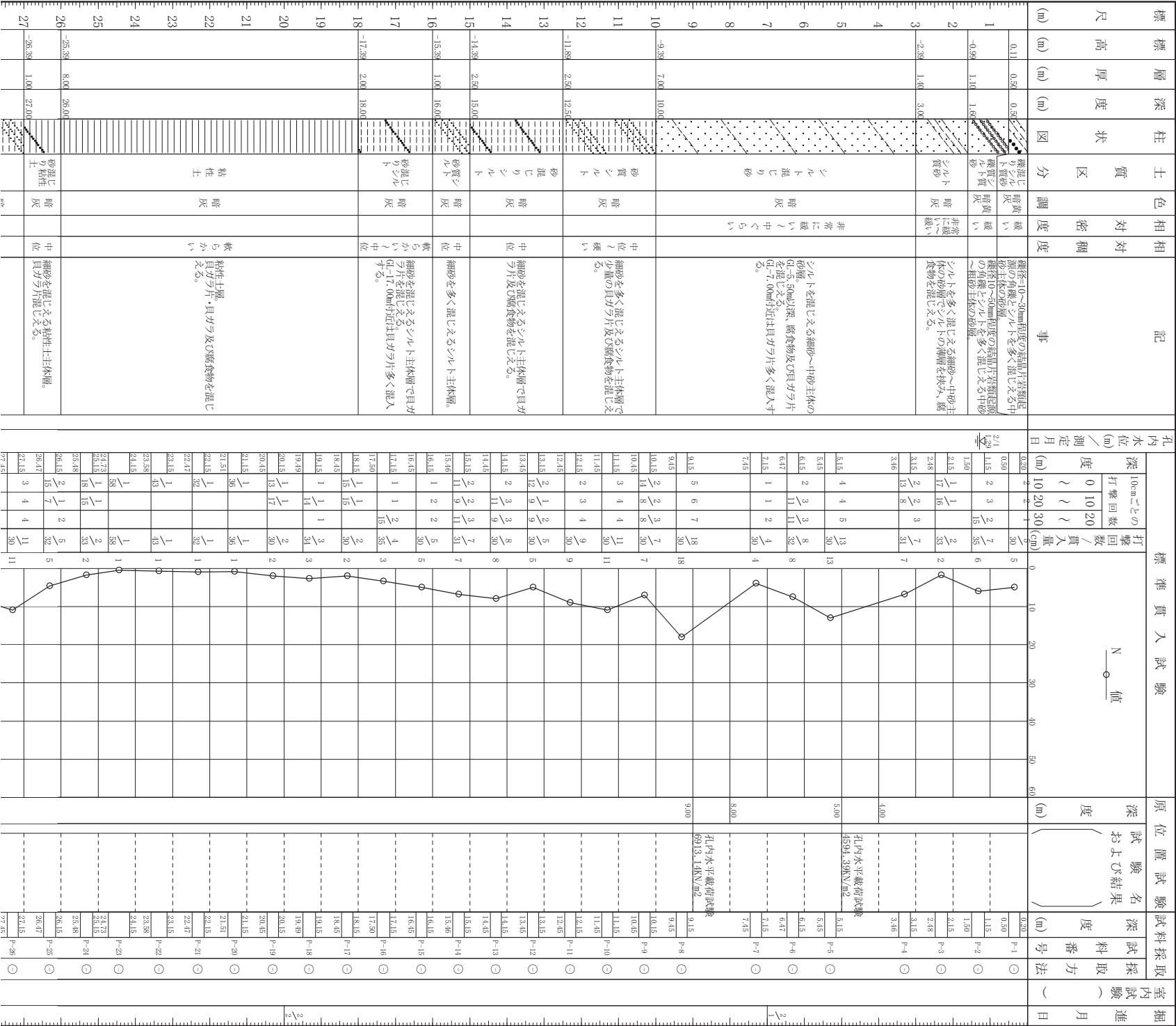


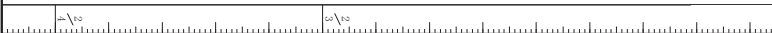
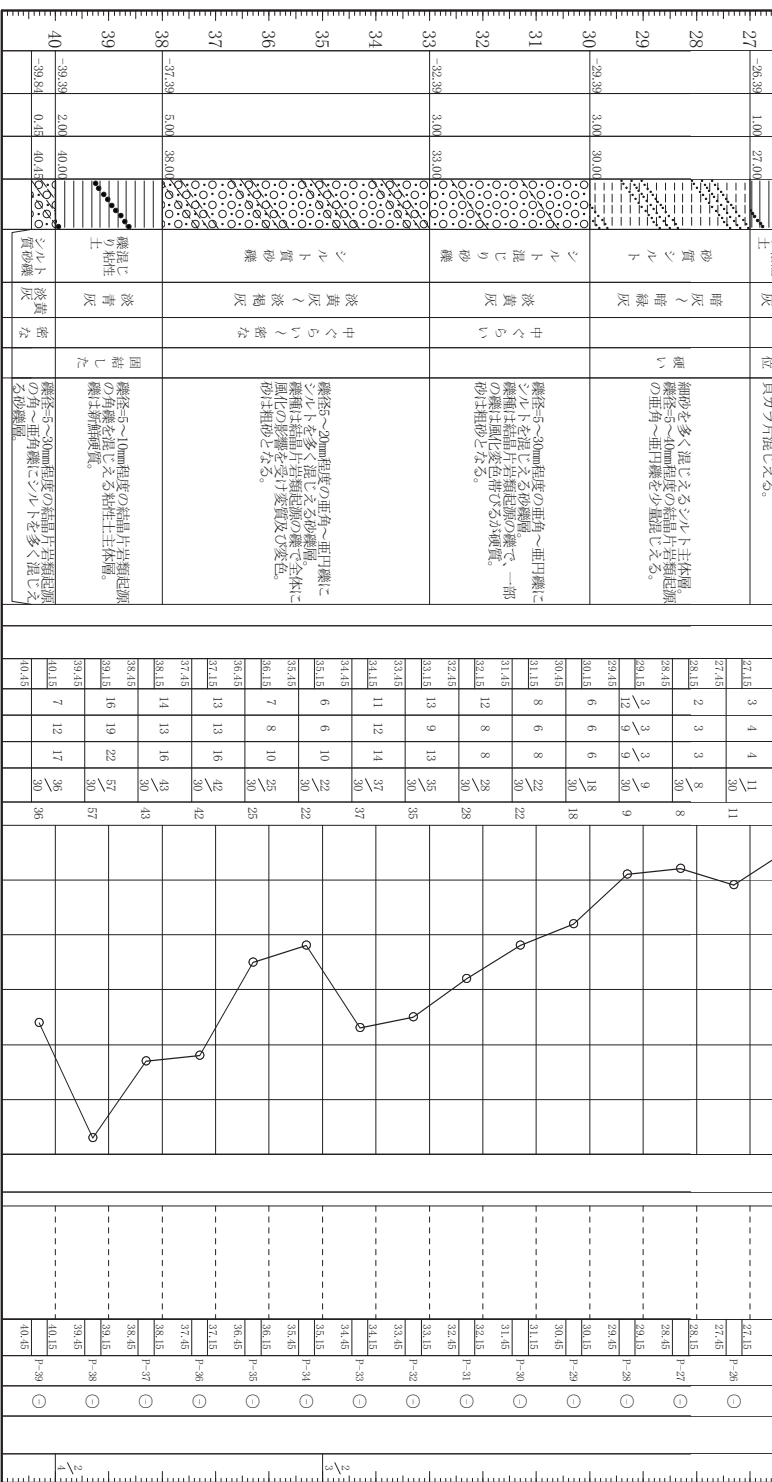
ボーリング柱状図

調査名 H22住宅 県営住宅集約化事業徳・万代 地質調査業務

事業・工事名

ボーリング名	Bor. No. 2		調査位置	徳島市万代町				北緯34° 3' 44.17"
発注機関	徳島県土整備部住宅課			調査期間	平成 23年 2月 1日 ~ 23年 2月 4日			東経134° 33' 48.4"
調査業者名	株式会社ピーエー設計 電話(088-665-7360)		主任技師	現場代理人	廣岡 勝巳	鑑定者	ボーリング責任者	田中 洋
孔口標高	H=+0.612m	角	大機 宏之		東邦D-1型		ハンマー落下用具	トンビ
総掘進長	40.45m	度	地盤勾配	使用機種	クボタEA-12型		東邦BG-3C型	
			方位	北 0° 270° 90° 0° 西 東				





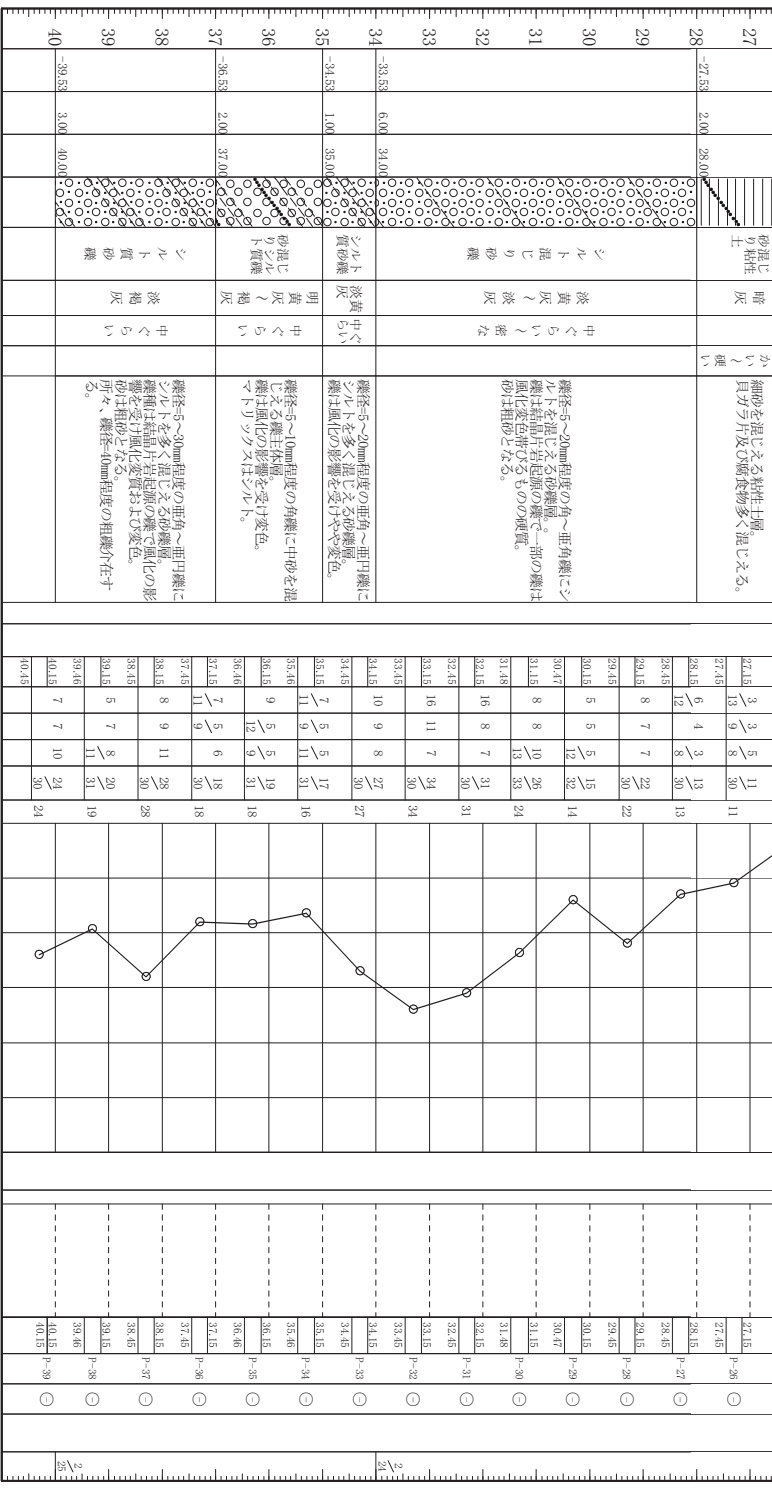
ボーリング柱状図

調査名 H22住宅 県営住宅集約化事業徳・万代 地質調査業務

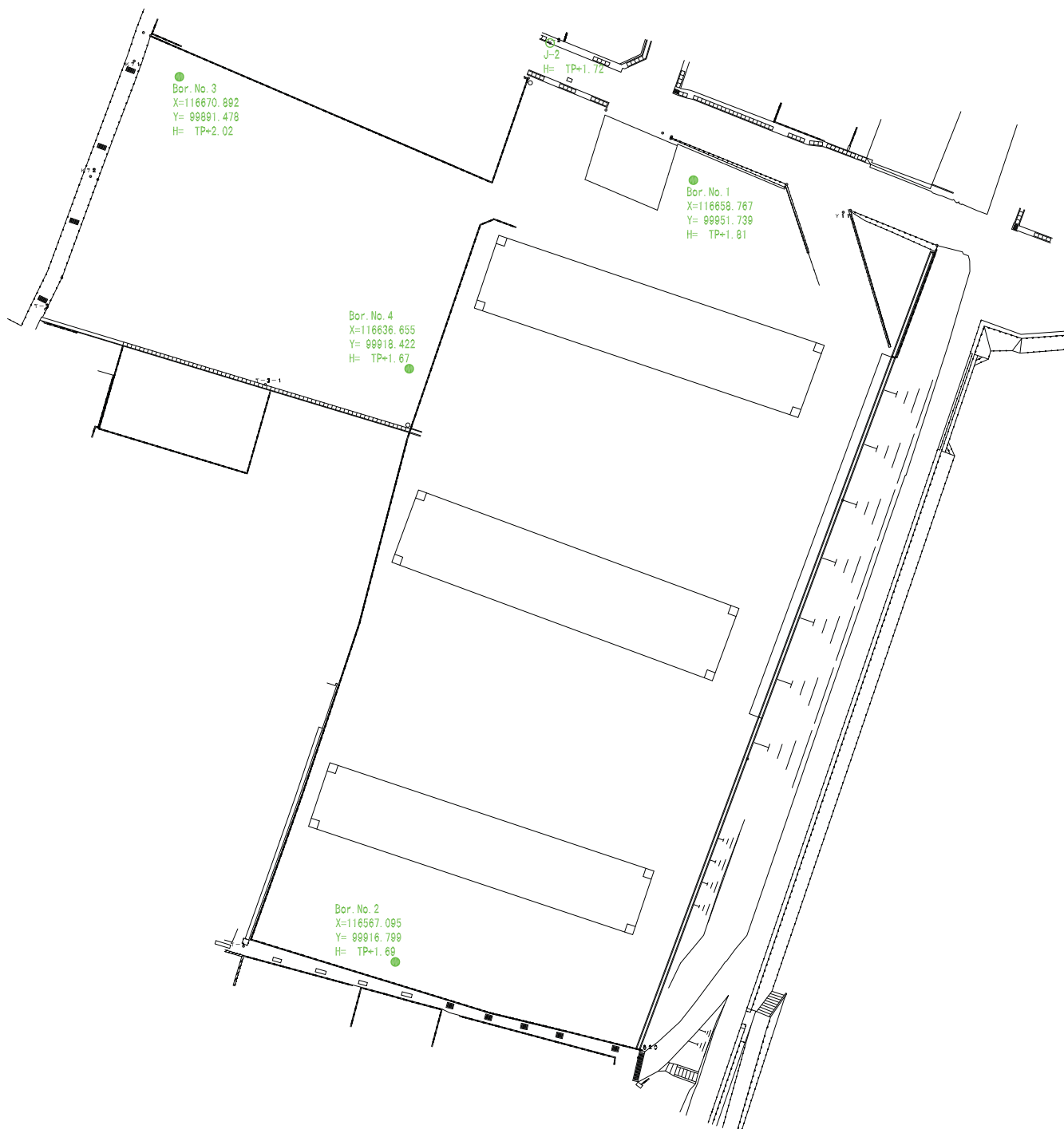
事業・工事名

ボーリング名		調査位置		徳島市万代町		北緯34° 3' 46.16"	
発注機関		徳島県土整備部住宅課		調査期間		平成 23年 2月 21日 ～ 23年 2月 28日	
調査業者名		株式会社ビュー設計 電話 (088-665-7360)		主任技師		東 経134° 33' 49.15"	
孔口標高		H=+0.471m		大機 宏之		ボーリング責任者	
総掘進長		40.00m		地盤勾配		廣岡 勝巳	
		角 180° 上 90° 下 0°		使用機種		トンビ	
		方 北 270° 西 90° 東 180° 南		試験機		落下用具	
		度 水平0° 鉛直90°		エンジン		ポンプ	
				クボタEA-12型		東邦BG-3C型	

標準貫入試験										原位置試験		室内試験	
深さ		打撃回数		打撃回数		貫入量		値		深さ	試験結果	深さ	採取方法
10cmごとの打撃回数		0 10 20		打撃回数		貫入量		N 値		度	おおよび結果	度	番号
度		度		度		度		度		(m)	(m)	(m)	(m)
27	25.53	8.00	26.00	砂混じり砂	暗灰	軟らかい	細砂を混じえる粘性土層、貝ガラ片及び腐食物を多く混じえる。	27.45	3	5	11	11	P-26
26	25.53	8.00	26.00	砂混じり砂	暗灰	軟らかい	細砂を混じえる粘性土層、貝ガラ片及び腐食物を多く混じえる。	26.45	2	8	7	4	P-25
25				砂混じり砂	暗灰	軟らかい	細砂を混じえる粘性土層、貝ガラ片及び腐食物を多く混じえる。	25.45	1	1	3	3	P-24
24				砂混じり砂	暗灰	軟らかい	細砂を混じえる粘性土層、貝ガラ片及び腐食物を多く混じえる。	24.45	0	1	1	1	P-23
23				砂混じり砂	暗灰	軟らかい	細砂を混じえる粘性土層、貝ガラ片及び腐食物を多く混じえる。	23.45	0	1	1	1	P-22
22				砂混じり砂	暗灰	軟らかい	細砂を混じえる粘性土層、貝ガラ片及び腐食物を多く混じえる。	22.45	0	1	1	1	P-21
21				砂混じり砂	暗灰	軟らかい	細砂を混じえる粘性土層、貝ガラ片及び腐食物を多く混じえる。	21.45	0	1	1	1	P-20
20				砂混じり砂	暗灰	軟らかい	細砂を混じえる粘性土層、貝ガラ片及び腐食物を多く混じえる。	20.45	0	1	1	1	P-19
19				砂混じり砂	暗灰	軟らかい	細砂を混じえる粘性土層、貝ガラ片及び腐食物を多く混じえる。	19.45	0	1	1	1	P-18
18				砂混じり砂	暗灰	軟らかい	細砂を混じえる粘性土層、貝ガラ片及び腐食物を多く混じえる。	18.45	0	1	1	1	P-17
17				砂混じり砂	暗灰	軟らかい	細砂を混じえる粘性土層、貝ガラ片及び腐食物を多く混じえる。	17.45	0	1	1	1	P-16
16				砂混じり砂	暗灰	軟らかい	細砂を混じえる粘性土層、貝ガラ片及び腐食物を多く混じえる。	16.45	0	1	1	1	P-15
15				砂混じり砂	暗灰	軟らかい	細砂を混じえる粘性土層、貝ガラ片及び腐食物を多く混じえる。	15.45	0	1	1	1	P-14
14				砂混じり砂	暗灰	軟らかい	細砂を混じえる粘性土層、貝ガラ片及び腐食物を多く混じえる。	14.45	0	1	1	1	P-13
13				砂混じり砂	暗灰	軟らかい	細砂を混じえる粘性土層、貝ガラ片及び腐食物を多く混じえる。	13.45	0	1	1	1	P-12
12				砂混じり砂	暗灰	軟らかい	細砂を混じえる粘性土層、貝ガラ片及び腐食物を多く混じえる。	12.45	0	1	1	1	P-11
11				砂混じり砂	暗灰	軟らかい	細砂を混じえる粘性土層、貝ガラ片及び腐食物を多く混じえる。	11.45	0	1	1	1	P-10
10				砂混じり砂	暗灰	軟らかい	細砂を混じえる粘性土層、貝ガラ片及び腐食物を多く混じえる。	10.45	0	1	1	1	P-9
9				砂混じり砂	暗灰	軟らかい	細砂を混じえる粘性土層、貝ガラ片及び腐食物を多く混じえる。	9.45	0	1	1	1	P-8
8				砂混じり砂	暗灰	軟らかい	細砂を混じえる粘性土層、貝ガラ片及び腐食物を多く混じえる。	8.45	0	1	1	1	P-7
7				砂混じり砂	暗灰	軟らかい	細砂を混じえる粘性土層、貝ガラ片及び腐食物を多く混じえる。	7.45	0	1	1	1	P-6
6				砂混じり砂	暗灰	軟らかい	細砂を混じえる粘性土層、貝ガラ片及び腐食物を多く混じえる。	6.45	0	1	1	1	P-5
5				砂混じり砂	暗灰	軟らかい	細砂を混じえる粘性土層、貝ガラ片及び腐食物を多く混じえる。	5.45	0	1	1	1	P-4
4				砂混じり砂	暗灰	軟らかい	細砂を混じえる粘性土層、貝ガラ片及び腐食物を多く混じえる。	4.45	0	1	1	1	P-3
3				砂混じり砂	暗灰	軟らかい	細砂を混じえる粘性土層、貝ガラ片及び腐食物を多く混じえる。	3.45	0	1	1	1	P-2
2				砂混じり砂	暗灰	軟らかい	細砂を混じえる粘性土層、貝ガラ片及び腐食物を多く混じえる。	2.45	0	1	1	1	P-1
1				砂混じり砂	暗灰	軟らかい	細砂を混じえる粘性土層、貝ガラ片及び腐食物を多く混じえる。	1.45	0	1	1	1	P-0
(m)	(m)	(m)	(m)	図	分	調	度	事	度	度	度	度	度



凡 例	
●	地質調査ボーリング位置



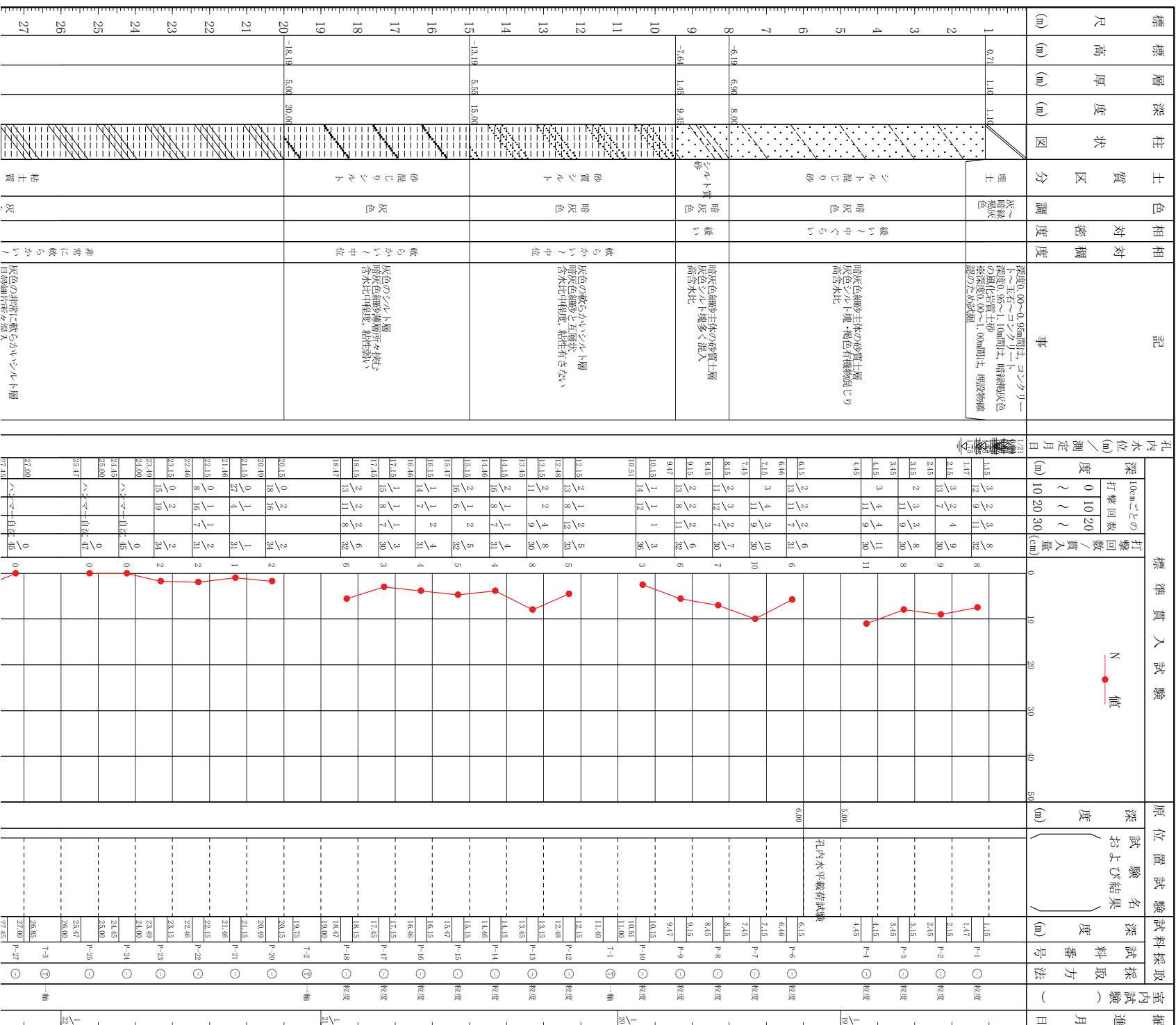
ボーリング柱状図

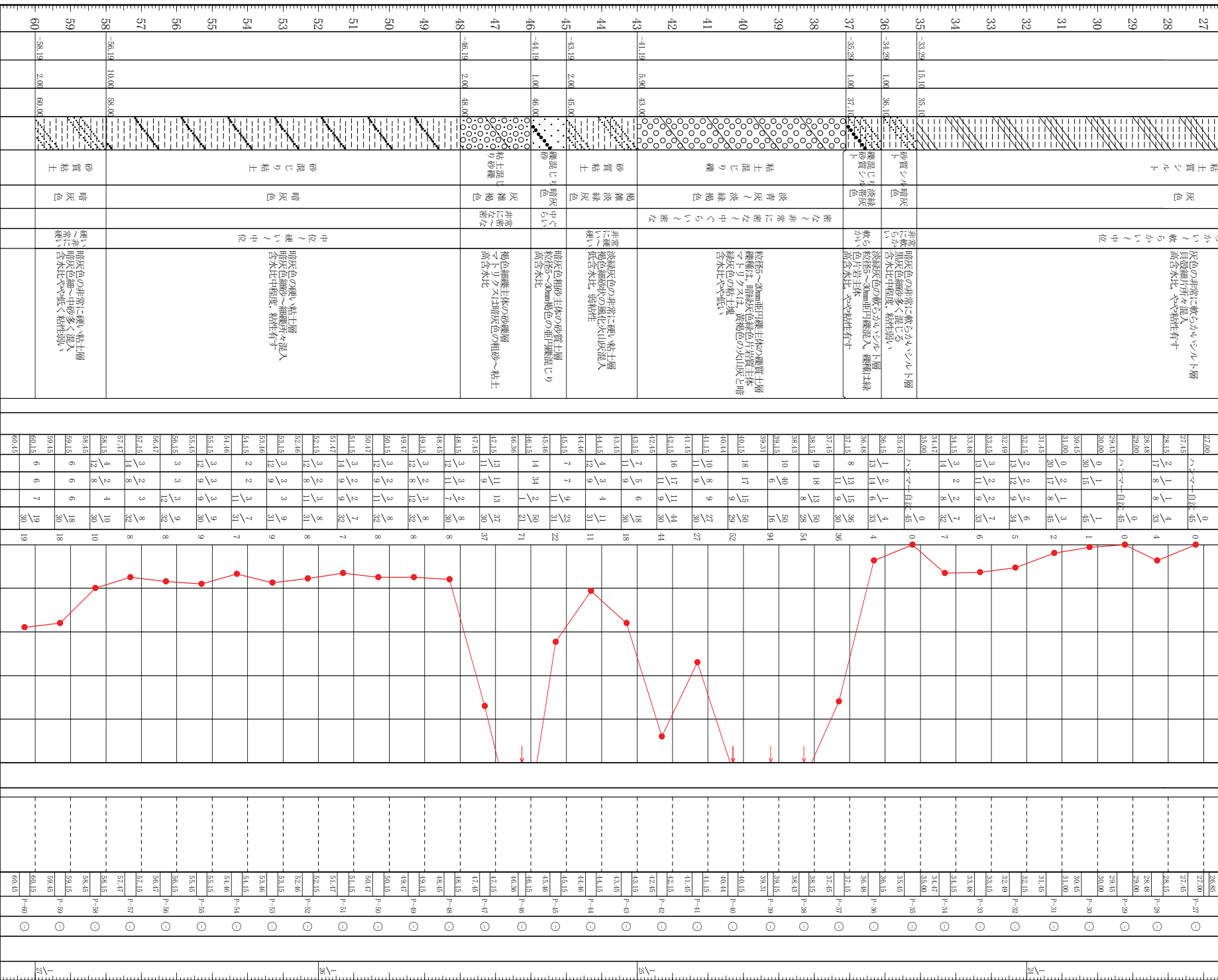
調査名 H22住宅 県営住宅集約化事業徳・津田 地質調査業務

ボーリングNo								
---------	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

ボーリング名	Bor. No. 1			調査位置			徳島市津田町			緯度			34° 2' 49.683"								
発注機関	徳島県県土整備部住宅課						調査期間			平成23年 1月 19日 ~ 23年 1月 27日						東経			134° 34' 57.321"		
調査業者名	株式会社廣瀬工業所 電話 (088-623-1533)				主任技師		須 鎗 隆		現 場 代 理 人		桑 岡 治		コ ン 定 者		須 鎗 隆		ボーリング者		桑岡 治		
孔 口 標 高	1.81m		角 度				地 盤 勾 配				使用機種		エンジン		鉦研OP-1		落下用具		半自動落下型		
総掘進長	60.00m		方 向				ポンプ		ヤンペー N FAD-13		鉦研 M C-5										





ポーリング柱状図

調査名	H22住宅	県営住宅集約化事業徳・津田	地質調査業務
ボーリングNo			

[illegible][illegible]

